

【地域社会振興委員会（酒本勇太）】所信書

私が描く理想の委員長像は、メンバー一人ひとりの力を最大限に引き出し、共に挑戦し合いながら成長していく姿です。委員会活動は決して一人で進めるものではなく、全員の参加が不可欠です。そのため、委員長として重要なのは、メンバーが意欲的に関わりやすい環境を整えることだと思います。個々が持つ経験やスキルを活かしながら、積極的に意見を出し合い、主体的に活動に参加できるような雰囲気を作っていきます。

そして、小さな成功体験を重ねることが、メンバー一人ひとりの自信を育む上で非常に重要だと考えます。成功体験は新しい挑戦へのモチベーションを高め、次なるステップへ進む原動力となります。失敗を恐れずに挑戦する姿勢を委員会全体で共有し、互いに支え合い、励まし合うことも大切だと考えています。

また、今後事業を進めていく上で、田村次年度理事長が所信でお話された通り、アートと文化に対して地域の事業や文化を支える担い手が減少している課題があります。特に地域に根付いた文化がなくなると、地域への愛着や帰属意識が薄れてしまいます。因幡地域には、古くから伝わる貴重な文化が数多く存在します。これらの文化は、地域の歴史や風土を物語る大切な財産であり、後世に引き継いでいくことで、郷土愛の醸成に繋がっていくはずで

最後に、私の使命は、メンバーが成長する機会を提供し、アートと文化の分野で地域全体を巻き込むムーブメントを起こしていくことです。皆で力を合わせ、活力ある地域を作り上げ、因幡地域の未来を切り開いていきます。